

## 2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	建築の質感・色彩評価小委員会		主 査 名：山本早里 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)		委員長名：田辺 新一 主 査 名：古賀靖子
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色彩、質感に関する文献の分析、視覚効果の定量化</li> <li>・ 色彩計画方法の事例収集</li> <li>・ 建築材料と色彩に関する実態調査</li> <li>・ アカデミックスタンダード策定の刊行 WG への移行準備</li> <li>・ シンポジウムの実施</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：山本早里 (筑波大学) 幹事：土屋潤 (九州産業大学) 委員：飯島祥二 (琉球大学)、池田圭介 (極東米海軍施設技術部隊)、石田泰一郎 (京都大学)、稲垣卓造 (大同大学)、井上容子 (奈良女子大学)、大野治代 (大手前大学)、北村薫子 (武庫川女子大)、熊澤貴之 (茨城大学)、佐藤仁人 (京都府立大学)、中山和美 (東京電力)、名取和幸 (日本色彩研究所)、槇 究 (実践女子大学)、宮本雅子 (滋賀県立大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>都市・建築の色彩測定法規準策定 WG：学会としては最初となる色彩に関する規 準づくりを目指す</p> <p>景観色彩計画 WG：国内外の景観色彩計画の方法と実際の景観を調査する。</p> <p>建築材料と色彩の実態調査 WG：最新色彩調査の既往研究レビューと、これまで の実態調査を考察する。</p> <p>建築空間における色彩・質感の視覚効果定量化 WG：関連文献の収集・整理・分 析及び視覚効果の定量化の方向性を確認する。</p>		
2014 年度予算	78,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. シンポジウム「建築と都市の色彩の国際比較」 資料名：同上 <span style="float: right;">参加者数 28 名</span>
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. シンポジウムを開催することができた。</li> <li>2. アカデミックスタンダード策定のためのデータ整理が進んでいる。</li> <li>3. 色彩計画方法の事例収集が行われている。</li> <li>4. 質感の定量化に関する文献調査が行われている。</li> </ol>
委員会活動の問題点 ・課題	1. 定員により、小委員会としての新規委員公募が難しいこと

## 2014 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>シンポジウム「建築と都市の色彩の国際比較」を開催し、国内外の色彩に関する文献のレビューおよび色彩の好みの国際比較や海外の景観色彩計画、日中の室内色彩に対する印象比較などについて最新研究の発表を交え討議することができた。</p> <p>アカデミックスタンダード策定のため、実験室実験を実施し、色相・明度・彩度の変位についての定量的な把握がなされた。今後、屋外での実証実験を実施する予定であり、刊行 WG へ移行する準備が整ってきている。色彩計画手法の収集、および質感の定量化の文献整理が進んでいる。建築材料に関する文献の整理を行うと共に、伝統的建造物群保存地区の色彩計測を実施した。</p> <p>委員会は遠方の委員に配慮し skype を使うなどして開催し、活発な議論をすることができた。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。